



〜壁に耳あり、障子にメアリー〜



※そ、それでもいいんてか?...

感謝を込めて花束を



▲執念を持って

健康第一! 加藤倍敬先生(教頭)
①まだ一年目ののに、早
②ベトナム研修
③池の前 もつと意欲
④九十五点 もつと意欲
⑤特になし
⑥元気をい出して

阿野眞裕美先生(家庭科)
①うーんって感じ
②授業
③七棟の廊下、夏はとて
④八十点、評定五はあげ
⑤パワーが欲しい
⑥元気をい出して

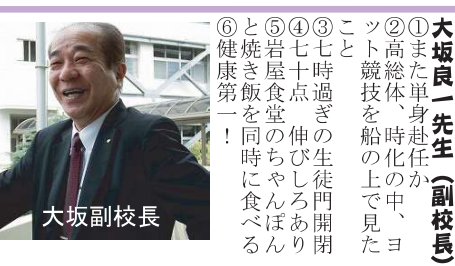
七カンドライブの始まり
退職される先生方
入里哲志先生(事務長)
①卒業した気分
②忙しかった
③掲揚台から眺めるグラ
④八十点 伸び代がある
⑤三十一日まで仕事があ
⑥最後にやりたいこと

田上法義先生(C科)
①半分寂しいが、第二の
②人生を歩むというこ
③考えれば楽しみ。
④体育祭でC科が三連覇
⑤したこ

倉本健一先生(D科)
①とにかく嬉しい
②赴任してきた年の歓迎
③遠足を歌ったこと
④D科準備室
⑤七十点 食欲が足り
⑥やるべきことは全部や
⑦った
⑧執念を持って物事を成
⑨し遂げろ

新たな旅立ち 先生方に感謝を
離・退任式
H28年度
三月二十四日に離・退任式が行われました。今年
長工を離れられるのは十八名の先生方。そんな先生
方に最後のインタビューをしてきました。

新天地へ、いざ行かん!
離任される先生方
大坂良一先生(副校長)
①また単身赴任か
②高総体 時化の中、ヨ
③ツト競技を船の上で見た
④こと
⑤七時過ぎの生徒門開閉
⑥七十点 伸びしろあり
⑦岩屋食堂のちゃんぽん
⑧焼き飯を同時に食べる
⑨健康第一!



杉本徹久先生(理科)
①やっぱり寂しい。七年
②間お世話になり、楽しい
③学校でした。
④部活の全国大会で沖繩
⑤に連れて行ってもらった
⑥こと
⑦理科準備室
⑧四十九点 甲子園に連
⑨れて行ってもらいたかつ
⑩た。
⑪長工で資格を取りたか
⑫った。次の学校ではジュ
⑬ニアマイスターゴールド
⑬とれるよう頑張りたい
⑭です。
⑮パワーがあればもつと
⑯いい

川上正実先生(社会)
①まだ良かった
②去年受け持ったI科を
③すばらしい形で卒業させ
④ることができたこと
⑤
⑥職員室
⑦ほとんどの生
⑧徒が素晴らしいが、ごくま
⑨れに礼儀がなっていない
⑩ものが多いから
⑪もつと工業の先生の技
⑫術を習いたかった
⑬
⑭恵まれた環境にいると
⑮いうことを自覚し、将来
⑯のこをしつかり考えて
⑰ください

熊本哲也先生(国語)
①クラスの生徒達から送
②り出してもらったのでそ
③れをパワーに頑張りたい
④
⑤テニス同好会。苦勞が
⑥あつたが充実している場
⑦
⑧白木蓮がさいいている場
⑨
⑩四十九 目標をもって
⑪
⑫部活
⑬
⑭志をもってください
⑮
⑯松尾善久先生(体育)
⑰さみしい
⑱三回、クラスの担任を
⑲持ったこと
⑳グラウンド
㉑七十五点 もつと元氣
㉒が欲しい
㉓生徒の心に火を付けた
㉔進化しろ!

村岡拓治先生(英語)
①さみしい
②二回、卒業を見送った
③こと、部活で九州大会に
④出場したこと
⑤
⑥L教室、体育館
⑦七十点、まだ頑張れる
⑧
⑨岩屋食堂に行く
⑩これからも頑張ってく
⑪ださい

兼松真弓先生(事務)
①寂しいです
②みんなが実習服を着て
③から、先生なのか業者
④さんなのか、生徒なのか
⑤わからない
⑥職員玄関にある学校模
⑦型
⑧百点 みんな頑張って
⑨いるように見えるから
⑩特になし
⑪頑張ってください
⑫

西平耕治先生
①さみしい
②九州高文連美術展の準
③備を美術部の生徒たちと
④したこ
⑤美術準備室
⑥90点 授業を受ける
⑦態度が良い、真面目、し



▲長工生よ、進化せよ。

深川文先生(国語)
①長工から離れるのが信
②じられない
③体育祭のリレーでの大
④転倒
⑤自分の机
⑥九十八点 元気でやる
⑦時はずから
⑧長工のどこかをピカピ
⑨カに磨いていく
⑩自信を持って自分を磨
⑪いてください

久保芳織先生(J科)
①荷物も心の整理も片付
②かない
③J科準備室
④百二十点 大好きだか
⑤
⑥春休み中の国旗掲揚台
⑦の下でお花見
⑧がんばってください。
⑨私も頑張ります。

春田智恵先生(事務)
①三ヶ月しかいなかった
②ので工業にもつといたか
③った
④生徒さんが良く挨拶し
⑤てくれた
⑥事務室
⑦百点 生徒、先生とも
⑧にとつとも明るい

中村比勇先生(理科)
①寂しい
②体育祭の二年のリレー
③で精一杯走ったこと、バ
④スケ部が県新人で進優
⑤勝したこと。
⑥百点 授業が和気藹々
⑦と楽しくできた
⑧もう一回ブタの目の解
⑨割をしたい
⑩ともかく、頑張れ!失
⑪敗してもいい、成功の元
⑫だから

後編集
毎年新入生に配
布してある部活動
紹介号と並行して
表に合格発表、裏は離退
任の先生方の記事と、ま
さらに先会いと別れは表裏
一体。新聞部も先輩方と
別れました。次は出会う
番です。入部待つてま

私がこの記事を書くの
は最後だと言った。しか
し、なぜか、今年二年
生な日々だった。二年
生な日々。新入生が入部
しなければこの欄、二年
生な日々になるの!
うか、求む一年生!
さて、新年度になり、
新入生が入ってきて、も
ちろん在校生も進級。で
すが、私はあまり進級し
た実感が湧いていません。
なぜなら、高校一年生と
しての一年間があつたとい
う間に過ぎてしまったか
らです。

一年生な日々
私が入部して早々クラスメ
イトが教室を間違えて隣
の教室で補習を受けて一
たり、自分は入部して一
ヶ月で転部したり、それ
で自分はいらない。どうし
てか。思っていたより進級
して教室を間違えてたり、
さらには朝補習が
無いらは違和感を覚える
ようになっていたりして
います。
一年生を振り返ってみ
ると、楽しい時間はあつと
いいう間に過ぎていきな
うの間はこういことな
だなど実感しました。と
はいえ、学生の自分は勉
強、度々も強い時間であ
つたという間に過ぎてい
つた。新しい年が、高
校生活に慣れるまでは大
変でしょうが、挫けず不
屈の心で頑張ってください。
(渡部)